

報告事項No.1 請願第10号

2014年8月24日

川崎市教育委員会
委員長 峪 正人殿

住所 川崎市中原区

氏名 小神純子

高等学校教科用希望図書の再考を促すことの撤回を求める請願

日頃より、川崎市の教育環境充実に向けご尽力いただいていることに、敬意を表するとともに感謝を申し上げます。

しかしながら、8月17日に行われました教科書採択における、高校教科用図書について再考を促すという決定につきましては大きな疑問を呈さざるを得ず、下記の請願を行うものです。趣旨をお汲み取りいただきますよう心からお願いいたします。

1 請願事項

- (1) 教科書採択に関わっては、各校の希望を尊重すること
- (2) 上記を踏まえ、実教出版を希望する高校2校に対する差し戻しを撤回すること

2 請願の趣旨と理由

(1) 日々生徒に接しながらご苦勞されている先生方の見解に、私どもは最も信頼を寄せるものです。生徒の理解度、受け止め方などを熟知している先生方だからこそ生徒の実態に合った指導が可能になると確信します。教科書選定においてもそれは同様です。

先生方の判断を踏まえた各校の希望は、よほどの過失がない限り尊重されるべきです。

(2) 上記の点から、今回の実教出版に関わる経緯には疑問を感じざるを得ません。

(3) 貴教育委員会は、従来各高校の希望を認めないことはなかったと伺っております。今回改めて従来の態度を覆す程の大きな問題が実況出版図書にあるとは思えません。

そもそも文科省による検定を経ている図書は適正と捉えられていたのではないのでしょうか。その中から各校が選定・希望したのであれば、今回の「様々な角度から取り上げられているか」というご指摘は、その希望を覆す程のものにはなりません。各校では生徒にふさわしいものとして総合的に評価し、選定・希望されたものと思います。

(4) 歴史を考察するという点を重視するのであれば、実況出版日本史 A はそれにかかわる項目数においてもページ数においても、他社図書に比べて決して引けは取らず、むしろ充実していると思われます。

さらに、川崎に関わる事柄を取り上げながら学ぶという点は、他社の図書にない特色であり、川崎の教科書としてよりふさわしいのではないのでしょうか。

(5) 貴教育委員会が常に児童・生徒に寄り添った審議をされてきたことに感謝しつつ、この伝統を堅持されることを期待し、請願を提出させていただきます。

